

《 検査項目の説明 》

A 基本コース検査

検査項目名	どんな検査？	何がわかる？
身長・体重・血圧	身長、体重、血圧、体格指数BMI (body mass index) を計測します	肥満度 (%) 体脂肪率、BMIで やせ・標準・肥満の参考にします 高血圧は動脈硬化に伴う脳血管障害、心臓病、腎臓病など 様々な疾患の原因になります
視力	裸眼もしくは眼鏡、コンタクトレンズをつけて視力を測定します	近視の度合いがわかります
眼圧	眼に空気を吹き付けて、眼球から押し返す内圧を調べます	緑内障の可能性やリスクを診断します
眼底検査	眼底カメラで瞳を通して血管・網膜・視神経を調べます	眼の奥にある網膜、血管、視神経の状態から緑内障や動脈硬化、 高血圧・糖尿病による変化などの情報を得ることができます
聴力	低音域と高音域の聴力を調べます	難聴の有無を調べます
肺機能	機械に息を吹き込んで呼吸機能をみます	肺活量や気管支の状態(炎症・狭窄・閉塞の有無) から肺繊維症・気管支喘息・ 気管支拡張症、慢性閉塞性疾患・慢性肺気腫などの疾患を診断します
心電図	心臓の電気的な活動を体の表面から記録します	不整脈・虚血性心疾患 (心筋梗塞・狭心症)、心肥大、心筋の障害などを 診断します
血液血清検査	数種類の採血管に採血し、血中の成分を調べます	貧血、肝機能、腎機能、糖尿病や痛風の可能性などの様々な情報が得られ ます
尿検査	10～20mlほど採尿し、尿中の細胞や成分を測定します	腎炎、ネフローゼ、糖尿病、尿路感染症などを調べます
便潜血検査	便の表面を擦って専用容器に採取し、血液が混じっていないかを調べます	主に大腸がんの発見を目的に行います ほかにポリープ、炎症性疾患、痔でも血液が混じることがあります
腹部超音波	超音波を用いて上腹部を検査します 肝臓 (かんぞう) ・胆のう・膵ぞう・脾臓 (ひぞう) ・腎臓の異常を 調べます	肝臓、胆のう、胆管、膵臓、腎臓、脾臓などの形や腫瘍の有無、結石、 のう胞 (水の貯留した袋)、脂肪沈着などがわかります
胸部CT	CTを用いた肺の精密検査です	主として肺がんの発見を目的に行いますが、慢性の肺疾患の診断にも 有用です
上部消化管内視鏡	胃の内側をカメラで観察します	食道・胃・十二指腸の良性・悪性腫瘍・ポリープ・炎症を診断します
上部消化管X線	バリウムを飲み胃の内側や全体像を撮影します	食道・胃・十二指腸の良性・悪性腫瘍・ポリープ・炎症を診断します
大腸内視鏡	内視鏡カメラを肛門から入れて大腸の内面を観察します	大腸の炎症、潰瘍、ポリープ、腫瘍などの有無を調べます
PET-CT	PETとCTを組み合わせた装置で全身を一度に調べます	全身のがんを一度に検診します。腫瘍の悪性度や広がりを見ることも できます